

協議事項(2) 令和8年度沼津市自主運行バスについて

1. 協議事項

沼津市内を運行するバス路線のうち不採算路線や民間バス事業者が撤退した路線について、交通事業者に運行を委託し経常経費と経常収入の差額（欠損額）を市が補助することで運行を維持しています（沼津市自主運行バス）。

令和8年1月26日に開催した令和7年度第3回沼津市地域公共交通協議会において、令和8年度の市自主運行バスの運行について承認をいただいたところですが、(株)富士急シティバスから片浜・柳沢線について事業者路線としての運行継続が困難である旨が申出されました。当該路線は、利用者は限られるものの、通勤・通学を目的に利用されており生活路線としての維持が必要であることから、令和8年度以降自主運行バスとしての運行を予定しており、国庫補助を活用しながら公的支援により維持をすることについて運行計画案のご審議をいただきます。

なお、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会に対しては、2月中に協議会を開催してお諮りしたうえで自主運行バスとして運行したい旨を申出済みです。

2. 対象路線（赤枠の路線について変更）

No.	路線名	運行事業者	補助制度	内容
1	西浦線	(株)東海バス	県費補助	継続
2	戸田・土肥線	戸田交通(株)	〃	〃
3	戸田・江梨線	戸田交通(株)	〃	〃
4	ミューバス原・浮島線	富士急静岡タクシー(株)	国庫補助	〃
5	片浜・柳沢線	富士急シティバス(株)	〃	新規

3. 資料

- ・片浜・柳沢線 運行概要

片浜・柳沢線 運行概要

路線の説明

令和4年度の市西部地区の路線の再編により、南北の移動利便性を確保する目的で運行を開始した路線であり、JR片浜駅と愛鷹地区の柳沢までを結ぶ路線です。通勤・通学などの日常の移動手段として利用されています。

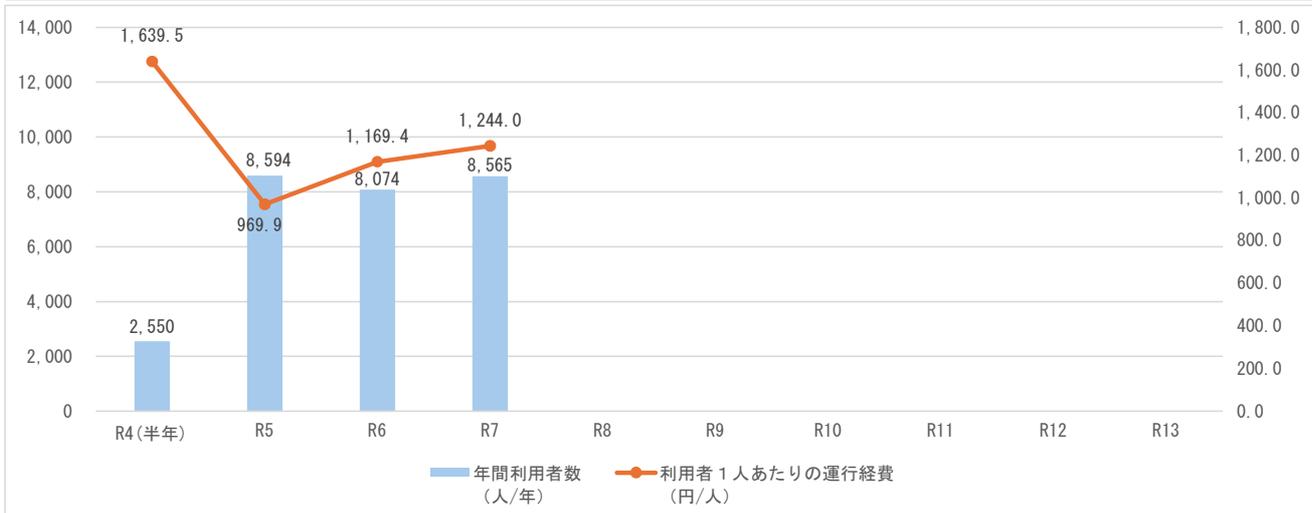
運行内容

ルート：片浜駅～愛鷹中学校校入口～柳沢
 キロ程：4.0km
 便数：5.0往復（平日のみ）
 車両：乗合バス
 運賃：対キロ運賃

	年間利用者数 (人/年)	1往復あたり 利用者数 (人/便)	利用者1人あたり の運行経費 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (千円/年)	経常収益 (千円/年)	公的負担額 (千円/年)
R4(半年)	2,550	2.2	1,639.5	11.2%	4,181	468	3,672
R5	8,594	3.8	969.9	18.0%	8,335	1,502	5,418
R6	8,074	3.6	1,169.4	18.6%	9,442	1,761	5,941
R7	8,565	3.8	1,244.0	18.7%	10,655	1,995	
R8							
R9							
R10							
R11							
R12							
R13							

※実績はフィーダー年度（前年度10月から当年度9月まで）だが、公的負担額のみ4月から3月で集計

年間利用者数・利用者1人あたりの運行経費の推移



路線に関する取組

- ・ (R4) ミューバス片浜駅循環をららばーと・原団地・原駅線、片浜・柳沢線に再編。
- ・ (R4) 路線再編により新規性要件及び利便増進特例を受けてフィーダー系統補助を活用。
- ・ **(R8) 運行回数の変更：令和8年4月5日まで（平日）7.5往復/（土休日）3.5往復
 令和8年4月6日から（平日）5.0往復/（土休日）運行なし**

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 沿線地区が限定され、利用者も限定的であるため、利用者数は頭打ちとなっている。

次年度以降の対応方針・取組

- ・ 収支率は依然20%を下回る状況となっており、収支状況が悪いため、運行効率化に向けて西部路線の一体的な再編を図る。
- ・ 便あたり利用者数も極端に少ない状況が継続しており、車両の小型化などを図ることで、収支率の改善に向けて取り組む。